

2026年度
八戸学院大学
地域経営学部 地域経営学科
テーマ1

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かない。
- 2 筆記用具は黒色の鉛筆またはシャープペンシルを使用する。
- 3 問題冊子に印刷不鮮明、ページの落丁などがあるときは、手を挙げて監督者に伝える。
- 4 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
- 5 問題冊子は持ち帰ってよい。

次の2点に答えなさい。

問 1. 下記の文章を読み、日本のバス業界が現在直面している諸課題について 200 字程度で説明しなさい。

問 2. 下記の文章中の下線部の問いに関して、あなたの考える解決策を 500 字程度で論じなさい。

バス業界の苦境が深刻だ。新型コロナウイルス禍の影響で輸送人員や運送収入が大きく落ち込み、今後、元通りに回復するか先行きは見通せない。加速する一極集中の裏側で人口減と超高齢化が容赦なく進む。運転手の不足や燃料費の高騰も経営の重荷となつてのしかかる。

国の交通政策白書によると、2021年度の路線バスの輸送人員は、ピークだった高度成長期の3分の1に縮小し、この10年間で約1万3千キロの路線が廃止となった。乗り合いバス事業者では赤字が94%を占める。

路線廃止や減便が相次ぐ中、通勤、通学、買い物などに欠かせない地域の足をどう守るか。目の前にある切実な課題に向き合い、官民が協力して解決策を見いださなければならない。

兵庫県交通政策課によると、県内では19の事業者が乗り合いバスを運行し、その半数超が赤字という。利用者が減少して減便となり、さらに客が減って縮小や廃止に至る「負のスパイラル」に陥っている。

運転手不足も深刻だ。日本バス協会によると、24年で2万1千人、30年には3万6千人が不足する。長時間労働などでなり手が元々少ないことに加え、高齢化も加速する。さらに来年4月からの残業規制の強化で労働時間が短くなる。各社は人手確保策として、運転手の待遇改善や採用活動の強化などを進めている。バスで働くやりがいを粘り強くアピールしてほしい。

中山間地の地域再生には公共交通が重要な鍵を握る。人が動いてこそ交流が生まれ、にぎわいが創出される。近年、バス路線の廃止地域などで活躍するのがコミュニティーバスだ。兵庫県によると、30市町で計377系統が運行し、利用者は年357万6千人と増加の一途をたどる。病院や買い物でバスを利用する機会の多い高齢者らにとっては大切な移動手段である。

そうした地域の重要な足を住民自身が支えていく姿勢がこれまで以上に求められる。事業者や行政に任せるだけではなく、社会全体で危機感を共有し対策を進めるべきだ。日本でバスが運行を始めてから、先月で120年を迎えた。バスが果たしてきた役割を再認識し、乗って守る努力を官民で重ねたい。

(出典)「<社説>苦境のバス——乗って守る努力を重ねたい」

『神戸新聞』掲載、2023年10月1日朝刊。